

西野 喜一教授最終講義

本学法科大学院教授として2004年の実務法学研究科発足以来教鞭を執ってこられた西野喜一教授が本年3月末に定年で退職されますので、以下の通り、その最終講義のご案内を差し上げます。

西野教授は、ご承知の通り、『裁判員制度の正体』（講談社現代新書）の著者として裁判員制度批判の代表的な論客の1人ですが、この『正体』は制度施行前の刊行でした。

今回は制度施行後のマスコミには現れない現実を紹介、批判する内容になるとのことです。ご興味がおありの方はどなたでもおいで下さい。

テーマ

「裁判員制度の悲劇と マスコミの矛盾」

日時

平成26年2月10日(月) 午後2時より

場所

本学法文A棟5F
法科大学院第二講義室
(新潟市西区五十嵐2の町8050)

約80分

入場無料

予約不要

新潟大学大学院実務法学研究科長

石崎 誠也